

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 6 月 21 日現在

機関番号：34315

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2018～2022

課題番号：18K01778

研究課題名（和文）中国多国籍企業の発展の現段階と中所得国多国籍企業論

研究課題名（英文）Development of Chinese Multinational Corporations and the Theory of Middle Income State Multinationals

研究代表者

中川 涼司（NAKAGAWA, RYOJI）

立命館大学・国際関係学部・教授

研究者番号：30198048

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,500,000円

研究成果の概要（和文）：苑志佳が単著として『世界進出する中国型多国籍企業』創成社、2023年2月を出版したのが最大の成果である。本書は多くのケース・スタディの積み重ねにより普遍的なフレームワークを提示している。また、中川涼司は先行研究の乏しい中国文化産業の国際進出についての研究を進め、大連万達集団、中国アニメ産業などの国際進出について創造性資産獲得理論によって研究を進めた。守は中国企業の多国籍企業化の受け皿としての華人ネットワークの存在を明らかにし、楊は中国中央国有企業の国際化対応の体制改革を明らかにした。

研究成果の社会的公表のため2022年11月の中国経済経営学会2022年度全国大会企画分科会を実施した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

中国多国籍企業の発展は急速でそれに対する研究も中国、日本、英語圏などでそれぞれ進められている。しかし、1人当たりGNIから見ればまだ上位中所得国である中国の多国籍企業化について、伝統的な先進国のモデルがあてはめられるのか、あるいは、途上国からの多国籍企業化のための理論として開発されたWellsやLallの理論、あるいはDunningの創造性資産獲得理論を使って説明できるかが難問であった。本研究が提起した中所得国多国籍企業論のフレームワークは中所得レベルにある国々は、対途上国と対先進国では多国籍企業化のロジックが異なってくることを論理的に示したものである。本研究を通じてそれらが検証された。

研究成果の概要（英文）： The biggest achievement is that Zhijia Yuen published "China-style Multinational Corporations Expanding Globally" Soseisha, February 2023. This book presents a universal framework through the accumulation of many case studies. In addition, Ryoji Nakagawa conducted research on the international expansion of the Chinese cultural industry, for which there was little prior research, and conducted research on the international expansion of the Dalian Wanda Group, the Chinese animation industry, etc. using the theory of creative asset seeking. Mori revealed the existence of the Chinese network as a receptacle for the Chinese multinational corporations, and Yang revealed the reform of the system of responding to the internationalization of Chinese central state-owned enterprises.

In November 2022, we organized special session in the 2022 National Conference of the Chinese Association of Economy and Business to publicize the research results to society.

研究分野：中国経済論

キーワード：中国 多国籍企業 国際化 対外直接投資 中所得国多国籍企業論 創造性資産獲得 華人ネットワーク 国有企業改革

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

近年の多国籍企業化の特徴は、かつてはもっぱら対外直接投資の受け入れ国であった新興国・発展途上国を母国とする多国籍企業の急増である。1990年の世界の対外直接投資(単年度アウトフロー)は2438億87百万ドルであったが、そのうち、先進国経済からは2307億67百万ドル(94.6%)であったのに対して、途上国経済からはわずかに131億20百万ドル(5.4%)に過ぎなかった。それが2000年代以降に拡大し、2016年には世界が1兆4524億63百万ドルに対して、途上国経済からは3834億29百万ドル(26.4%)、さらに多くは途上国である移行経済をあわせると、4085億25百万ドル(28.1%)にまで拡大した(UNCTAD)。

うち、特に目覚ましい拡大をしたのが中国である。2016年9月24日に公表された『2015年度中国対外直接投資統計公報』によれば2015年の単年度フローは1456.7億ドルの歴史上の最高額を記録し、日本(1286.5億ドル)を凌駕し、アメリカ(2999.6億ドル)に次ぐ世界第2位となった。世界に占める比率も2002年の0.4%から9.9%にまで上昇した。また、初めて受入額(1356億ドル)を超えた。ストックでも1兆978.6億ドルとなって、世界に占める比率も2002年の0.4%から4.4%に上昇、順位も25位から8位となった。

2. 研究の目的

近年の多国籍企業化の特徴は、かつてはもっぱら対外直接投資の受け入れ国であった新興国・発展途上国を母国とする多国籍企業の急増である。多国籍企業論は伝統的には先進国モデルとしたものであるが、1980年代から発展途上国発の多国籍企業の理論化も進められている。ただし、初期のWells, Lallらのモデルは比較的進んだ途上国からより発展の遅れた途上国への展開の論理としては使えたが、現実の途上国発の対外直接投資は途上国だけでなく先進国にも多く向かっており、理論として不十分であった。そこで、出てきたのがDunningによる創造性資産獲得追求(つまり企業特殊優位の事後的獲得が目的)の理論である。中国の多国籍企業をWells, Lallらの理論と創造性資産獲得追求のロジックを統合した中所得国多国籍企業論でもって説明できるかどうかを理論的、実証的に検証する。

3. 研究の方法

中国の対外直接投資先を基本的に世銀分類に基づき、4地域に分類する。(1)高所得国、(2)上位中所得国、(3)低位中所得国、(4)低所得国である。

データの検証とケース・スタディの両面から、4地域向けの特徴およびIT企業と石油化学企業などの産業別の差異、企業特殊優位形成プロセス、企業特殊優位と企業ガバナンスの関係、華人ネットワークの役割などを明らかにする。

4. 研究成果

2018年度において苑は実態調査を踏まえた、中国自動車企業のブラジル進出の実態についての論考「グローバル金融危機後の中国企業のグローバル化—ブラジルへ進出する中国自動車企業を中心に」(河村哲二(編著)『グローバル金融危機の衝撃と新興経済の変貌』ナカニシヤ出版、2018年所収)を発表した。これは、従来国内市場中心であった中国自動車メーカーのうち、最大手ではない安徽江淮汽車、長城汽車などが現地生産のうえ、国外で販売をし始めた事象について明らかにした。中川、楊、守は、2~3月にかけてカンボジアでの実態調査を実施した。それらの成果を踏まえ、3人は廣野美和編『一帯一路は何をもたらしたのか』勁草書房、2021年2月の3つの章、第6章 中川涼司「一帯一路における貿易・投資・援助の三位一体的展開—カンボジアを事例に」、第8章 楊秋麗「大型国有企業集団—『グローバル競争』志向改革への転換」、第10章 守政毅「華人ネットワーク—アジアの中華総集會と世界華商大會を事例に」を担当した。また、2020年3月22日には、本書の出版を記念する形で日英同時通訳での国際webinarセミナーも開催し、国内外の150名が参加した。また、文化産業に関しては、中川涼司「文化強国を目指す中国—ソフトパワー重視と文化産業振興—」『日中経協ジャーナル』2021年3月号が出版された。

2019年度後半以降はコロナのため現地調査ができず、文献調査などに頼らざるを得ない状況となったが、それでも苑は「中国企業による対日M&Aの投資効果に関する一考察—新たなPMI枠組みによる検証—」『経済学季報』第70巻第1号、2020年7月。「オセアニアにおける中国多国籍企業の現地運営特徴に関する実証研究」『経済学季報』第70巻第2号、2020年10月。「中国の半導体産業の発展可能性に関する要因分析」『経済学季報』第70巻第3号、2020年12月。「中国型多国籍企業に関する試論」『経済学季報』第70巻第4号、2021年3月などを次々と発表した。

2022年度は苑志佳が単著として『世界進出する中国型多国籍企業』創成社、2023年2月を出版したのが最大の成果である。これにより、苑は多くのケース・スタディの積み重ねにより、2014年に出版した前著『中国企業対外直接投資のフロンティア—「後発国型多国籍企業」の対アジア進出と展開』創成社を発展させ、より普遍的なフレームワークを提示している。また、中川涼司は先行研究の乏しい中国文化産業の国際進出についての研究を進め、昨年の大連万達集團の国

際展開に加えて、中国アニメ産業の国際進出についての研究を進め、「中国アニメ企業のビジネスモデルと国際展開 テンセント/絵夢(えもん)と追星動漫を中心にー」立命館大学国際地域研究所『立命館国際地域研究』第56号、2023年3月も発表した。

これらの研究成果の社会的公表のため、中川、苑、楊、守の4人全員で2022年11月6日に日本福祉大学東海キャンパス中国経済経営学会2022年度全国大会企画分科会「中国多国籍企業の新展開」を企画開催した。それぞれのテーマは「中国企業の海外進出の型：海外調査からのファクトファイディング」(苑)、「中国文化産業の国際化：映画、アニメ産業を中心に」(中川)、「中国石油化学企業のグローバル化 - 産業チェーンの変化と『グローバル競争』志向改革 - 」(楊)、「華人企業の動向変化：『国際華商1000』をもとに」(守)であった。

中川は2022年11日に南開大学新結構経済学研究中心主催の「“数字経済，産業転型与共同富裕”」(『デジタル経済』、産業転換と共同富裕)国際学術研討会において中国語での発表も行っている。

全体として、苑が伝統的タイプの多国籍企業化についてその特徴を実証的にも明らかにし、中川は創造性資産獲得理論に基づくような文化産業の国際化・多国籍企業化を明らかにした。守は、その受け皿としての華人ネットワークの存在を明らかにし、また、楊は中央国有企業が国際化のためにどのような改革を行ったのかを明らかにした。これらの分析結果は、中所得国多国籍企業論で提起したフレームワークと合致しており、研究の目的はほぼ達成できた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計33件（うち査読付論文 2件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 6件）

1. 著者名 中川涼司	4. 巻 95号
2. 論文標題 中国経済の2つの「窓」としての香港、台湾とその役割変化	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 現代中国	6. 最初と最後の頁 35-51
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川涼司	4. 巻 34-2
2. 論文標題 大連万達集団(ワンダ・グループ)の国際展開とレジェンダリー社買収の意味：中国文化産業多国籍企業の発展	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 立命館国際研究	6. 最初と最後の頁 1-33
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 苑志佳	4. 巻 71-1
2. 論文標題 中国多国籍企業の対ASEAN直接投資の特徴 タイ・マレーシア・インドネシアに進出した中国自動車企業を中心に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 経済学季報	6. 最初と最後の頁 1-37
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 苑志佳	4. 巻 71-2
2. 論文標題 自動車産業における分業構造の変化とその中国へのインパクト	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 経済学季報	6. 最初と最後の頁 1-33
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 苑志佳	4. 巻 71-3
2. 論文標題 ASEAN家電市場における中国多国籍企業の現地生産の特徴	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 経済学季報	6. 最初と最後の頁 1-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 苑志佳	4. 巻 71-4
2. 論文標題 中国EV産業への異業種参入の類型と意義	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 経済学季報	6. 最初と最後の頁 41-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川涼司	4. 巻 52
2. 論文標題 中国の「一帯一路」政策と対カンボジア投資 中所得国多国籍企業論のパーспекティブとその拡張	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 立命館国際地域研究	6. 最初と最後の頁 5-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 楊秋麗	4. 巻 52
2. 論文標題 中国大型国有企業集団における親会社の純粋持株会社への移行と国有資本運営の課題 「官官競争」志向改革から「グローバル競争」志向改革へ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 立命館国際地域研究	6. 最初と最後の頁 51-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 守政毅	4. 巻 52
2. 論文標題 「一帯一路」におけるアジアの華人ネットワーク組織が果たす役割 アジアの中華総商會と世界華商大會を事例に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 立命館国際地域研究	6. 最初と最後の頁 71-93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川涼司	4. 巻 2021-3
2. 論文標題 文化強国を目指す中国 ソフトパワー重視と文化産業振興	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日中経協ジャーナル	6. 最初と最後の頁 6-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 苑志佳	4. 巻 70-1
2. 論文標題 中国企業による対日M&Aの投資効果に関する一考察 新たなPMI枠組みによる検証	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 経済学季報	6. 最初と最後の頁 1-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 苑志佳	4. 巻 70-2
2. 論文標題 オセアニアにおける中国多国籍企業の現地運営特徴に関する実証研究	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 経済学季報	6. 最初と最後の頁 1-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 苑志佳	4. 巻 70-3
2. 論文標題 中国の半導体産業の発展可能性に関する要因分析	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 経済学季報	6. 最初と最後の頁 1-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 苑志佳	4. 巻 70-4
2. 論文標題 中国型多国籍企業に関する試論	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 経済学季報	6. 最初と最後の頁 1-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 苑志佳	4. 巻 623
2. 論文標題 中国企業による対欧直接投資の特徴と行方	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東亜	6. 最初と最後の頁 100-107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 苑志佳	4. 巻 69-1
2. 論文標題 「自然型資産」獲得の対外直接投資の要因分析 中国企業による対オーストラリア直接投資を中心に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 経済学季報	6. 最初と最後の頁 1-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34386/00002794	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 苑志佳	4. 巻 69-2
2. 論文標題 中国経済転換期における中央と地方関係に関する再考	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 経済学季報	6. 最初と最後の頁 1-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34386/00002794	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 苑志佳・山崎克雄	4. 巻 213
2. 論文標題 南アフリカにおける日系自動車部品ハイブリッド工場 HESTOの事例を中心に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 法政大学イノベーションマネジメント研究センター・ワーキング・ペーパーシリーズ、オンラインジャーナル	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 苑志佳	4. 巻 70
2. 論文標題 米中貿易戦争の深層を考える	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 農業・農協問題研究	6. 最初と最後の頁 16-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 苑志佳	4. 巻 15
2. 論文標題 米中貿易戦争の表層と深層を考える 次のヘゲモニーの交代はありうるか	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東アジア論壇	6. 最初と最後の頁 42-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松野周治・曹瑞林・楊秋麗	4. 巻 40
2. 論文標題 遼寧省經濟の新方向 2019年8月大連・丹東訪問を踏まえて	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 社会システム研究	6. 最初と最後の頁 109-130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34382/00013045	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 苑志佳	4. 巻 68(1)
2. 論文標題 米中貿易摩擦の深層に隠れた次のヘゲモニー競争 次世代中心産業の競争を中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 経済学季報(立正大学)	6. 最初と最後の頁 1-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 苑志佳	4. 巻 68(2・3)
2. 論文標題 中国改革開放40年の達成と今後の課題について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 経済学季報(立正大学)	6. 最初と最後の頁 1-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 楊秋麗	4. 巻 38
2. 論文標題 瀋陽鼓風機集団股フン有限公司の「瀋鼓雲」の開発・利用	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 社会システム研究(立命館大学社会システム研究所)	6. 最初と最後の頁 240-241
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 苑志佳	4. 巻 68(4)
2. 論文標題 中国のNEV市場におけるトライアングル構造の形成 中国自動車産業の再編に関する一考察	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 経済学季報(立正大学)	6. 最初と最後の頁 1-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川涼司	4. 巻 56
2. 論文標題 中国アニメ企業のビジネスモデルと国際展開 テンセント/絵夢(えもん)と追星動漫を中心にー	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 立命館国際地域研究	6. 最初と最後の頁 1-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川涼司	4. 巻 68-4
2. 論文標題 (書評) 佐々木智弘著『現代中国の官僚組織行動 電気通信事業改革の政治過程』	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 アジア研究	6. 最初と最後の頁 88-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 楊秋麗・中川涼司	4. 巻 56
2. 論文標題 中国市場における資生堂のブランド戦略の変化 市場のアップグレードとEC発展への対応	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 立命館国際地域研究	6. 最初と最後の頁 27-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 楊秋麗	4. 巻 71-5
2. 論文標題 中国石油化学産業チェーンの『X+1+X構造』改革 - 産業チェーンレベル・企業集団レベル・商品レベルの要因分析 -	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 立命館経済学	6. 最初と最後の頁 127-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 苑志佳	4. 巻 72-1
2. 論文標題 電気自動車 (EV) 産業における国際分業の可能性 半導体産業との比較の視点から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 経済学季報	6. 最初と最後の頁 1-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 苑志佳	4. 巻 72-2
2. 論文標題 時系列から見た中国の対東南アジア直接投資の変化とその意味	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 経済学季報	6. 最初と最後の頁 1-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 苑志佳	4. 巻 72-3
2. 論文標題 ラテンアメリカに進出する中国多国籍企業の特徴 ブラジル自動車市場を攻略する中国企業を中心に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 経済学季報	6. 最初と最後の頁 1-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 苑志佳	4. 巻 72-4
2. 論文標題 中国電気自動車（EV）産業の競争優位に関する分析 マーケット・セグメント・カバーレージとサプライチェーンを中心に	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 経済学季報	6. 最初と最後の頁 1-35
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計22件（うち招待講演 1件/うち国際学会 0件）

1. 発表者名 苑志佳
2. 発表標題 Catch-up-oriented Innovation and Its Impact on Emerging Economies -The Hint from China's Experience
3. 学会等名 The 4th Workshop in Cooperation with the European Association for Comparative Economic Studies
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 苑志佳
2. 発表標題 中国新エネルギー自動車産業における異業種参入に関する考察
3. 学会等名 産業学会東部部研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 楊秋麗・中川涼司
2. 発表標題 中国市場における資生堂のブランド戦略の変化 - 市場のアップグレードとEC発展への対応 -
3. 学会等名 アジア経営学会第28回全国大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中川涼司
2. 発表標題 中国経済の2つの「窓」としての香港、台湾とその役割変化
3. 学会等名 日本現代中国学会第70回全国学術大会共通論題
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 苑志佳
2. 発表標題 中国の基盤産業の国産化は可能か 半導体産業を中心に
3. 学会等名 産業学会東部研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 苑志佳
2. 発表標題 米中貿易戦争の表層と深層を考える 次のヘゲモニーの交代はありうるか
3. 学会等名 日本華人教授会講主催「週末公開講座」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 苑志佳
2. 発表標題 現在の中国経済をどう捉えるかー発展パラダイムの転換と課題ー
3. 学会等名 政治経済学・経済史学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 苑志佳
2. 発表標題 米中貿易戦争の深層－ヘゲモニーはどこへ－
3. 学会等名 農農研総会・特別講演会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 苑志佳
2. 発表標題 「キャッチアップ指向型イノベーション」：後発者による先発者への追い越しパターン 中国の産業発展からのヒントー
3. 学会等名 産業学会東部部会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 守正毅
2. 発表標題 「一帯一路構想」下における華人ネットワークの拡張 -第14回世界華商大会をめぐって-
3. 学会等名 九州経済学会第69回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 守正毅
2. 発表標題 一帯一路におけるアジアの華人ネットワーク組織が果たす役割：アジアの中華総商会と世界華商大会を事例に
3. 学会等名 立命館大学国際地域研究所「一帯一路」研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中川涼司
2. 発表標題 中国企業の対カンボジア投資の拡大と両国関係の変化
3. 学会等名 立命館大学国際地域研究所「一带一路」研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 苑志佳
2. 発表標題 新エネルギー車時代に向かう中国自動車市場の再編 「天下三分」の様相
3. 学会等名 2018年度産業学会東部自動車研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 苑志佳
2. 発表標題 中国自動車金型産業に現れる「外部資源の内部化」行動に関する研究 その発生の実態を分析する
3. 学会等名 2018年度産業学会東部部会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 苑志佳
2. 発表標題 中国企業の海外進出の型：海外調査からのファクトファインディング
3. 学会等名 中国経済経営学会2022年度全国大会企画分科会「中国多国籍企業の新展開」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中川涼司
2. 発表標題 中国文化産業の国際化：映画、アニメ産業を中心に
3. 学会等名 中国経済経営学会2022年度全国大会企画分科会「中国多国籍企業の新展開」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 楊秋麗
2. 発表標題 中国石油化学企業のグローバル化 - 産業チェーンの変化と『グローバル競争』志向改革 -
3. 学会等名 中国経済経営学会2022年度全国大会企画分科会「中国多国籍企業の新展開」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 守政毅
2. 発表標題 華人企業の動向変化：『国際華商1000』をもとに
3. 学会等名 中国経済経営学会2022年度全国大会企画分科会「中国多国籍企業の新展開」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中川涼司
2. 発表標題 中国文化産業走出去和日本
3. 学会等名 南開大学新結構経済学研究中心主催「“数字經濟，産業轉型与共同富裕”（国際学会）」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 苑志佳
2. 発表標題 電気自動車（EV）産業の「半導体産業化」はありうるか
3. 学会等名 2022年度産業学会自動車産業研究会第1回東部研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 楊秋麗・中川涼司
2. 発表標題 中国化粧品市場のアップグレードとEC発展に対する資生堂のマーケティング戦略
3. 学会等名 第41回JAIBS中部部会春季研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 苑志佳
2. 発表標題 本格的な市場獲得型投資へ転換する中国企業の対東南アジア進出
3. 学会等名 科学技術振興機構 アジア・太平洋総合研究センター主催、第11回アジア・太平洋研究会「中国の双循環（二重循環）戦略と産業・技術政策 - アジアへの影響と対応」
4. 発表年 2022年

〔図書〕 計8件

1. 著者名 足立研幾・板木雅彦・白戸圭一・鳥山純子・南野泰義編（中川涼司）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 297
3. 書名 プライマリー国際関係学	

1. 著者名 中本悟・松村博行編(中川涼司)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 249
3. 書名 米中経済摩擦の政治経済学－大国間の対立と国際秩序－	

1. 著者名 廣野美和編(中川涼司、楊秋麗、守政毅)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 362
3. 書名 一帯一路は何をもたらしたのか	

1. 著者名 一般社団法人中国研究所編(苑志佳他)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 510
3. 書名 中国年鑑2018	

1. 著者名 河村哲二編著(河村哲二、近藤章夫、林ソウ玄、王 京濱、李 捷生、王 東明、範 大鵬、時 晨生、カク燕書、折橋伸哉、馬場敏幸、芹田宏司、苑志佳、加藤真理子)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 352
3. 書名 グローバル金融危機の衝撃と新興経済の変貌：中国、インド、ブラジル、メキシコ、東南アジア	

1. 著者名 系久正人・公文溥 編著(安保哲夫、郭四志、錢佑錫、宮地利彦、島田明男、苑志佳、俞成華、カク燕書)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 時潮社	5. 総ページ数 388
3. 書名 アフリカの日本企業	

1. 著者名 苑志佳	4. 発行年 2023年
2. 出版社 創成社	5. 総ページ数 336
3. 書名 世界進出する中国型多国籍企業	

1. 著者名 アジア・太平洋研究センター(苑志佳)	4. 発行年 2023年
2. 出版社 国立研究開発法人科学技術振興(JST)	5. 総ページ数 127
3. 書名 中国の「製造強国」政策と産業・科学技術	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	苑 志佳 (SONO MOTOYOSHI) (00308123)	立正大学・経済学部・教授 (32687)	
研究分担者	守 政毅 (MORI MASAKI) (00434704)	立命館大学・経営学部・教授 (34315)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	楊 秋麗 (YANG QIULI) (70531664)	京都橋大学・経営学部・准教授 (34309)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 立命館大学国際地域研究所、出版記念国際ウェビナーセミナー	開催年 2021年～2021年
--	--------------------

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関		
中国	南開大学	経済学院	